

星屑

2009 年 3 月号

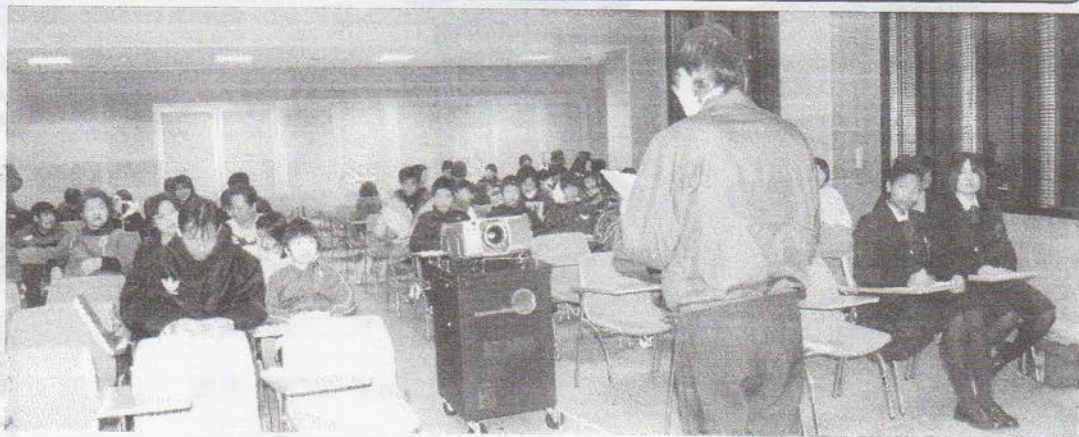
No. 408



NGC2071 (左) と M78 (下)
M78 は「ウルトラマンの星」
41cm反射、EOS 20Da
7分露出6枚を合成

熊本県民天文台

**1/24(土)、水俣市、熊本県環境センターで 2009冬期
スターウォッチング が開催されました
60名が参加、金星や冬の星座を楽しみ、光害を学習しました！**



■ 天気予報が・・・

「1日中雪が降る。ところによっては平地でも積雪がある。」という予報でした。「水俣までの高速道路が不通になったら、イベント中止しましょう。」という事前の打ち合わせです。一体どうなるのか、とても不安でした。

しかし、城南町では、朝目覚めたらほぼ快晴の良い天気。お昼前でも、ところどころに雲が見える程度です。「さて、水俣はどうなのだろう」と少々不安でした。



■ こちらは晴れです

そう電話をもらったのがお昼。それから、急いで望遠鏡3台を積み込み、水俣へ向かいました。15時頃について、簡単な打合せ、それから望遠鏡を組立始めました。このときも青空がいっぱいです。「このままのお天気が続いてくれると良いのですが・・・」スタッフの誰もがそう思っていました。



■ 受け付け開始

17時半、受付が始まりました。すでに望遠鏡には行列ができています。青空の中の金星を見もらったのですが、「月ですか?とても明るい」と驚きの声、上々のスタートです。



■ まず室内で解説

この日は、「光害」と「スターウォッチングのやり方」について学習し、それから、冬の星空を観察したり、「星空の継続観察（スターウォッチング）」に参加して頂く、というのが目的です。せっかく県民天文台に白羽の矢が立って「講師」の役割が与えられたのですから、これまでとはひと味違う「学習会」を目指しました。そこで・・・、「電子紙芝居」をフルに活用しました。

まず、1) 光害ってなに 2) 新しい防犯灯 3) みんなで変えよう の3本の解説番組を上演。途中で、持参した城南町型の防犯灯も点灯実演しました。この方法はうまくいったようです。

「光害」という問題は、解決するのが難しそうに感じられるかも知れないが、どこで起こっているか、なぜ起こっているかを知ると、意外なほど簡単に解決策が分かる。改善された照明器具の採用が増えると、住んでいる町の夜景が変わる。夜景が変わり始めると、エネルギーを大量に消費していた私たちの暮らしそのものが変わる。・・・豊かな自然環境と一緒に、「星空」も戻ってくる・・・と解説すると、大きく頷いている人がいっぱいいます。良かった！

■ 夕日の広場で星の観察

続いて、屋外へ出て水俣湾を見下ろす「夕日のひろば」で「星の観察」を始めました。

金星や冬の星座の明るい星々を望遠鏡に導入し、観察して頂きました。水俣地区のボランティア2名の方にもお手伝いして頂いて、20cm、25cm、28cmと3台のシュミカセが並びました。そこに12cm屈折や多数の双眼鏡も加わっての観察です。ところが、この頃から雲が広がり始めて、一体どの星がどの星座なのだか、なかなか分かりません。結構苦労しながら精一杯解説しました。



それでも、全員が金星の観察を体験、冬の星々の観察ではたくさんの質問が出始めました。中には、「星はなぜ光るのか?」「星はどんなふうにくぐくぐのか?」「望遠鏡はどんな仕組みで動いているか?」「星にはどんな名前が付いているか?」「金星は、どうして月みtainな形に見えるのか?」など。どれも、絶妙なタイミングで声が上がるので、解説していてとても楽しくなりました。やがて、雲が一面に広がってしまったところで、もう一度室内に戻りました。

■ オーダーメイドの解説

ここから先の解説は、オーダーメイド。つまり、会場にいる人達のリクエストにや質問に合わせての展開です。「星はどうして光り出すのか?」「日食はどのように観察すると良いか?」など、この日は真面目な質問が相次ぎました。それで、「星座物語」は封印。メニューだけ見てもらって、「お話しは、次の機会に・・・」ということになりました。

お天気に恵まれたとは言えない「スターウォッチング」でしたが、18時の開会から21時の閉会までたっぷり3時間。参加された方々は太い楽しんで下さったようです。

■ まとめ

スターウォッチングの最後は、「まとめ」の時間。ここで、参加者には「星座早見」プレゼントの抽選会。当選番号が発表されるたびに会場には歓びの声が上がります。今回は当選者20名に、オリオン大星雲の写真もプレゼント。参加賞のすばるの写真も好評でしたが、大星雲の写真はそれ以上に喜ばれたようです。解説を行う際に、星座早見の使い方を説明しておきましたから、プレゼントしてもらった人達は早速早見盤を回して、自分たちが見た星空の様子を確かめていました。

最後に環境指導員の方から、ご挨拶があって閉会になりました。アンケート用紙に感想を記入して頂いて回収しましたが、これまでのスターウォッチングより「好評」な感想が多かったと、環境センターのスタッフの方々も喜んで下さいました。

望遠鏡の片付け作業に向かう私たちに、大勢の参加者が手を振ってお別れの挨拶をして下さったのが印象的でした。ほとんど丸1日がかりの大イベントでしたが、何とか星も見えるお天気になり、無事に終われてホッとしました。

**2/14(土)、19:00～ 立田山、「雑草の森」で 3回目の
ほしぞら観察会 が 開催されます**

「親子ふれあいおとまり会」です、木登り講習もあるのだとか

応援できる方、よろしくお願いします!!

**2/28(土)、20:00～ 立田山、「雑草の森」で 4回目の
ほしぞら観察会 が 開催されます**

**「親子ふれあいおとまり会」です、艶島が参加出来ません
講師として応援できる方が居ましたら、よろしくお願いします!!**

C-11と12cm屈折を積み込み、電子紙芝居の準備もしっかりやって、出発しました。



■ 施設側が準備した望遠鏡も

今回は、施設長の金坂さんが天体写真撮影に使っていたという、ビクセン製10cm屈折赤道儀も登場。野外に設置して、「星の観察」に活躍しました。長いこと使われないままだったそうですが、星の光を浴び、県民天文台スタッフの手で調整されて、無事によみがえったようです。この望遠鏡、これからしばらく「雑草の森」で活躍できると良いですね。

■ ほしぞら音楽隊

この夜のために、一方で、特別な準備も進んでいました。それが「ほしぞら音楽隊」です。楽器が得意な2人、中尾（TOMMY）さんと西嶋さんが打ち合わせして、オカリナとリコーダーを持参。「ほしぞら観察会」の会場で「きらきら星」の演奏が始まったのです。

すると、会場にいたちびっ子やジジ・ババが合唱をして加わりました。ちょっぴり雲が広がった時でしたから、絶妙のタイミング。会場の雰囲気が一気に盛り上がりました。

■ 電子紙芝居

月や金星、冬の星々をしばらく観察しているうちに、また雲が広がってきました。そこで、今度は室内へ移動、「電子紙芝居」での解説が始まりました。たくさんの星座物語が、楽しそうなマンガで表示されると、次々とリクエストの声が上がります。こうして、あっという間に予定していた「観察会」時間が過ぎていきました。

■ 感想とリクエスト

終了後に金坂さんから頂いたメールによると、今回追加した新プログラム（星のコンサート、電子紙芝居）は好評だったそうです。―― 以下、引用 ――

「おかげで、みんな楽しそうでした。」「また、電子紙芝居も楽しかったらしく、参加者アンケートで『おもしろかった』の回答や、複数の運営委員からも、『次回から、天候にかかわらず電子紙芝居もやってほしい』との意見もあり、丁度昨日開催された、雑草の森運営委員会の席では、勝手に『星のスクリーンシアター』という名前まで付いてしまいましたよ。」

熊本からの「日食ツアー」が企画されました!

中華人民共和国、嘉興（かこう）市

北緯31° 5' 東経121° 18'

嘉興、皆既日食ツアー



世界天文年

2009

専門員同行
熊本発着

【期日】 2009年7月20日（月）～23日（木）3泊4日

【参加費用】 125,000円（熊本発 大人：2名1室利用の場合）

【申込方法】 お電話もしくはメールにてお申し込み下さい

申込金 10,000円納入後、正式に申込完了となります

このツアーは通常の観光ツアーとは異なり申込金は旅費の一部として充当されますが、現地における宿泊ホテルの確保がキャンセルされた場合には、申込金のうち7,000円は戻りませんので、予めご了承のうえ御申し込み下さい

【募集人員】 20名（定員になり次第締切ます） 【最少催行人員】 15名

日時	都市	時間	スケジュール	食事
① 7/20 (月)	熊本 福岡 上海	午前 15:25 16:05	熊本より専用貸切バスにて福岡空港へ 中国国際航空 CA916 便にて空路、上海浦東へ 到着後、専用車にてホテルへ ホテルチェックイン後、上海料理の夕食へご案内致します 夕食後、日食セミナー開催 上海市内【泊】	昼：機内 夕：上海料理
② 7/21 (火)	上海 嘉興	専用車	ホテルにて朝食後、 上海市内観光へご案内 豫園、豫園商城、茶芸館、上海老街、新天地散策など 観光後、日食観測地嘉興へ移動、ホテルへ (上海～嘉興間約100km：移動時間＝約1時間15分) 嘉興市内【泊】	朝：ホテル 昼：飲茶 夕：×
③ 7/22 (水)	嘉興 上海	専用車	朝食後、皆既日食観測場所へ移動（移動時間＝約20分） 欠け始め 08:22:20 皆既日食開始 09:35:01⇒⇒09:40:57 皆既日食終了 日食終了 11:00:21 皆既日食の見学終了後、専用車にて上海市内へ 上海天文台見学 ホテルチェックイン後、自由行動 上海市内【泊】	朝：ホテル 昼：地方料理 夕：×
④ 7/23 (木)	上海 福岡	11:50 14:25 17:30	朝食後、専用車にて空港へ 中国国際航空 CA915 便にて空路、福岡へ 到着後、専用貸切バスにて熊本へ 熊本着	朝：ホテル 昼：機内

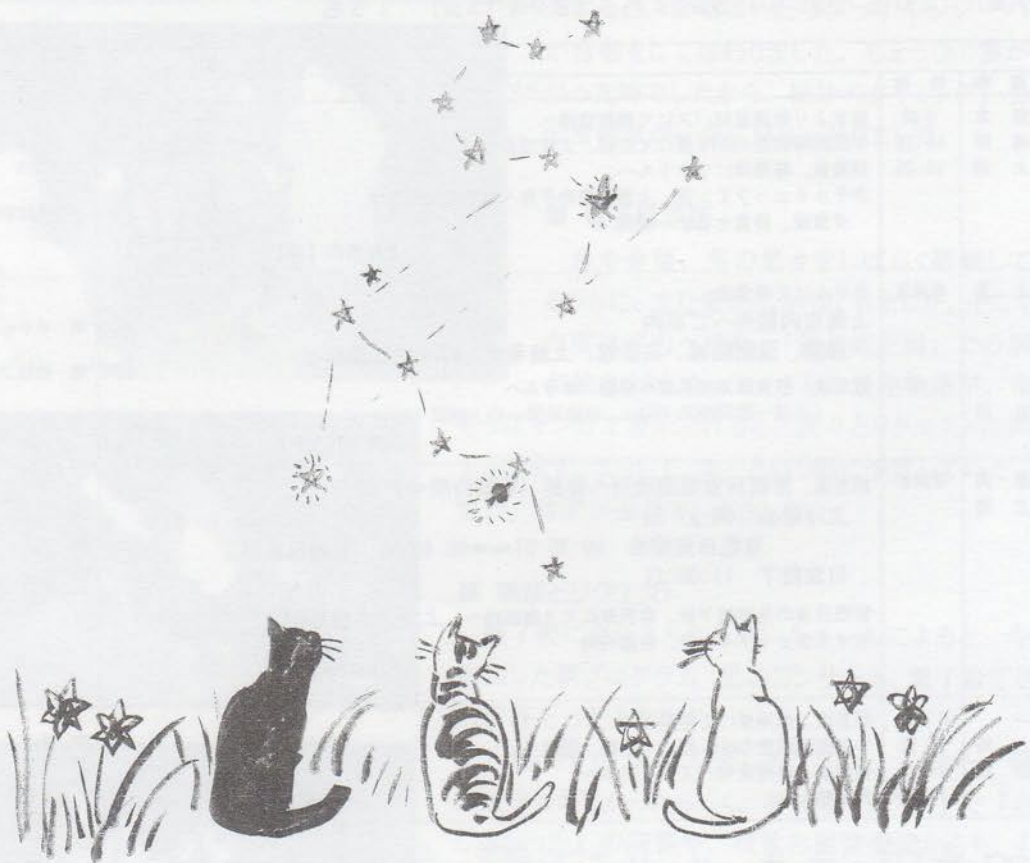
参加希望の方は、メールでお問い合わせ下さい。

standust@mx7.tiki.ne.jp (やは)

ちよつと一服

Poem & Illustration

やっとPC原稿復活...と思たら、やはりダメでした.....
いつになったら復活できるのやら。あわてて手書きのやり直してます。
さて、金星はあいかわらず輝かしい姿を南西の空に見せてくれて
いますが、ちよつと夜遅く帰宅した時など、金星が「沈んだ」後の空に
冬の星座が傾いているのを見ると、冬の終りを感じます。
東の空は、もう春.... 立春過ぎましたしね。猫の顔ほどの庭は、
水仙とふきのとうの競演です。



ライオン の あくび

夏生まれの子ねたちは
冬の日ざしや
ホットカーペットとか
やかんがシュンシュン なっているストーブの前を
経験しながら
ほんのすこし おとなになった

シジウカラは ありかわらず なわばり宣言しているか
子ねたちのジャンプが落ちない場所を慎重に選んでいる

子ねこの兄弟は
おとなになったらライオンになるんだ。て信じこんで
ライオンはシジウカラやジョウビタキなど相手にするんだろうか
真剣に悩んでいる
らしい

地上に下りた白い星の芳香が
庭中に満ちるころ
ほんの少し顔を赤らした春の使者が
東天で咆哮する獅子に
あいさつした



By Dio

2009年1月の県民天文台 ～運営日誌より～

開台率 7日/13日=53.9%
一般来台者数 123名

総開台日数 8日
会員来台数 20名

日付	天気	来客数	担当運営	記事
4日 (日)	くもり	0人	艶島	「国際天文年」オープニングイベントの日だというのに、お昼頃から「どんぐもり」!!どなたもおいでになりません。 1眼デジカメのインターバル制御(2台を同時に制御)の実験をして、20時になったので、帰ります。
9日 (金)	曇り	0人	西嶋	月が雲間に見えていたようだったので来たけれど、けっきょく誰も来ずに帰りました。
11日 (日)	晴れのち曇り	0人	中尾T 小林ま 中尾T	夕方晴れ間があったので来ました。 2階を開けて待っていましたが、空がどんどん曇ってきたので閉めて帰ります。 金星、月の観望と撮影 メチャ寒いです!
16日 (金)	晴れ	3人 +4人	西嶋	金星、双眼鏡で小三つ星 夕方曇り・・・と思っていたら、日没後一気に晴れました。ピカピカ金星に「おおっと」あわてて来台したところ、艶島ファミリーが来られました。 が、その後は来台者なし。快晴なのになと思っていたのですが、20:30頃から今度は一気に曇りました。その後お天気はよくなりず全天曇りなので21:00に閉めました。 あのひとときの快晴、なんだったんでしょう・・・・。

いよいよルーリン彗星が見頃になってきましたね。もうご覧になりましたか？ 私はまだなので、星屑が手元に届く頃までには、見てみたいなあと思っています。(^_^;)そして、今年は土星の環が消える！！ので、彗星と一緒に、超細くなった環もご覧になっては如何でしょう。来台の際、まだ寒いので防寒対策をお願いしますね。

☆ 3月の天文現象 & 行事 ☆

- 3日(火) 月とプレアデス星団が夕空で接近 準惑星ケレスが衝(20:58 6.9等)
- 4日(水) 上弦(16:46)
- 5日(木) 啓蟄(けいちつ…冬眠した虫類が、陽気で地上に姿を現す)
- 8日(日) 59P/カーンズ・キュー彗星が近日点通過(周期9.5年)
- 10日(火) 土星が衝(02:24 0.5等 視直径19.7" 環長径44.6" 環短径02.1")
- 11日(水) 満月(11:38) P/2008 J3マックノート彗星が近日点通過(周期7.7年)
- 12日(木) おとめ座Rが極大(6.1~12.1等 周期146日)
- 13日(金) 天王星が合(18:27 5.9等 視直径03.3")
- 14日(土) トークアバウト(天文台にて 20:00~ 変更の場合もあります)
- 15日(日) いて座Rが極大(6.7~12.8等 周期270日)
- 19日(木) 下弦(02:47)
- 20日(金) 春分(しゅんぶん…昼と夜の長さが同じ。前後各3日を含め、先祖供養の日)
- 21日(土) P/2002 Q1ファンネス彗星が近日点通過(周期6.7年)
- 25日(水) 金星が内合(22:37 -4.1等 視直径59.1")
- 26日(木) 145P/シューメーカー・レビー彗星が近日点通過(周期8.4年)
- 27日(金) 新月(01:06)
- 30日(月) 月とプレアデス星団が夕空で接近
- 31日(火) 水星が外合(00:59 -1.9等 視直径05.0")

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2009年3月号 通巻408号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226

熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01700-5-105697

NPO熊本県民天文台事務局

ホームページ <http://astro.magma.ad.jp/>

メーリングリストの加入申し込み受付中 kcaohige@kcaohige.com 中島まで